



**大規模災害が
発生したら・・・**

早朝、突然の大きな揺れと家がきしむ音で起こされた十勝沖地震。道東方面では、震度6弱の長い揺れが続き、大きな被害を受けました。

このような大規模災害が市内で発生したとき、消防局をはじめ防災関係機関は活動を開始します。しかし、以下①②③の理由により、活動が遅れることや、すぐに現場に到

着できないことがあります。

① 火災や建物の倒壊が同時に多数発生し、一度に全てに対応することができない。

② 道路が破壊されたり、倒壊建物・放置車両等により通行できなくなる。

③ 電話がつながりづらくなり、消防や警察への通報が難しくなる。

そんなとき、隣家から煙が出ていたら、家族がケガをしてしまったら・・・皆さんはどうしますか。

そのためにも、自主防災訓練などの日ごろの備えが大切になります。



7月3日(土)、幌西地区連合町内会(細川照市会長)で行われた「**発災対応型**」と言われる自主防災訓練を紹介しました。これは、直面した災害に対して、住民自らが考え、対処するという、より実践的な訓練です。二年前に同地区の弥久茂町内会(森竹俊夫会長)で、初めて行われました。幌西地区は、平成九年から初期消火、応急措置などの部

参加した人たちは、どこで何が起こっているか知らされていないため、戸惑う姿も見られました。しかし、徐々に状況が把握できると声を掛け合い、倒壊した建物から下敷きになっていたり人の救出やバケツリレーによる消火活動を行いながら、幌西小学校に避難していました。その後、同小学校で、初期消火や応急手当などの訓練を行い、防災意識の向上を図りました。



▲倒壊した家屋から救出し、心肺蘇生を行う参加者

中央区防災訓練

9月1日の「防災の日」に合わせて、都心部での災害を想定した防災訓練を実施します。

日時 9月1日(水)午前9時～12時。

場所 旧大通小学校グラウンド(北2西11)。

内容 消火、避難、救出・救助などの各種訓練。

詳細 区役所総務企画課交通防災・施設担当
☎231-2400(内線208)



積極的に、消火訓練に参加する
地域の子どもたち